

8. 基本的生活習慣編

② 「宿題やった？」やる気を持たせる関わり方

《ねらい》

○日常生活のよくある場面をふりかえりながら、子どもがやる気になる具体的なかかわり方について考える。

《準備物》

○ファシリテータ：ワークシート

○参加者：筆記用具

※役割演技してもらう人を2人あらかじめ頼んでおく。

	時間	主な活動	発言	留意点
導入 (10)		1. 学習のねらい  今日は、日常の生活場面をふり返りながら、子どものやる気を引き出す声かけやかかわり方について考えていきましょう。その前に、ちょっとリラックスするために、簡単なゲームをしましょう。		
		2. アイスブレイク ・グループ分け ・自己紹介	アイスブレイクの例参照	・4人程度のグループに分ける。
		3. ルールとマナーの確認	P. 6参照	
展開 (35)	10	4. ワークシートに記入する。 ・気づいたこと、感想等 (ワーク1)	4. これから、日常のある場面を演じてもらいます。その様子を見ながら、気づいたこと、感じたことを <b>ワーク1</b> に記入しましょう。	・各自でワークシートを読んで考えてもよい。
	10	5. グループで話し合う。 (ワーク2)	5. グループで気づいたことを話し合しましょう。	・2～3グループに紹介してもらう。
	5	6. ワークシートに記入する。 ・やる気が出た言葉、態度 ・やる気がなくなった言葉、態度 (ワーク2)	6. 自分が子どもの頃、親や周囲の大人たちに言われたり、されたりしたことを思い出して、 <b>ワーク2</b> に記入しましょう。	
	10	7. グループで話し合う。 ・子どものやる気を引き出すポイント (ワーク3)	7. 思い出を紹介しながら、子どものやる気を引き出すポイントをグループで考えて <b>ワーク3</b> に記入しましょう。	・2～3グループに紹介してもらう。
まとめ (15)	5	8. ふりかえり	8. このワークをふりかえって、気づいたことをワークシートにまとめてください。	
	10	9. まとめ  いかがでしたか。子どもの頃を思い出すと、いろいろな励ましを親からもらっておられたようですね。子どものやる気を引き出すためには、「がんばれ」という励ましの言葉だけでなく、子どもと一緒に行動することも大切ですね。		

## ② 「宿題やった？」やる気を持たせる関わり方

ゲームやテレビに夢中な子どもに、「宿題やった？いつするの？」など、子どものためを思って心配して言っているのに、子どもに上手く伝わらなかったり、思うように子どもが動いてくれなかったりすることはありませんか。よくある場面をふり返りながら、子どもへの関わり方について考えていきましょう。

### ワーク1 演技を見て感じたことを書きましょう。

子どもが学校から帰って30分ほど経ちました。子ども部屋をのぞくとかばんを開けた様子もなくゲームに夢中になっています。

親：宿題はしたの？

子：ゲームが終わったらするから。

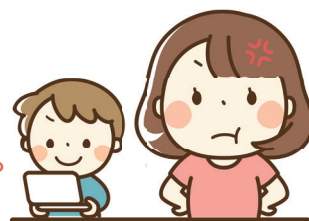
親：終わったらって、いつまでゲームするの？

子：1時間したら宿題するよ。

親：ほんとに1時間したらするの？宿題してからゲームすればいいのに。

子：1時間したらするって言うてるでしょ！もう！

親：何で言うこときかないの！困っても知らないよ！



### ワーク2 自分が子どもの頃に大人からかけられた言葉や、態度を思い出してみよう。

やる気が出た

やる気がなくなった

### ワーク3 子どものやる気を引き出すポイント

ふりかえり

